

(別記第3号様式)

根室市市民意見公募手続（パブリックコメント）実施結果公表

令和6年 6月12日

市民の皆さんからいただいたご意見、これに対する市の考え方などを取りまとめましたので、公表します。

施策等の名称	根室市立小中学校適正配置計画(改訂版)(案)		
実施期間	令和6年4月25日～令和6年5月24日		
意見の件数	1件(1人)		
意見の取扱い	修正	案を修正するもの	件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	件
	参考	今後の参考とするもの	件
	その他	意見として伺ったもの	1件
意見の受け取り	郵送		人
	ファクシミリ		人
	電子メール		人
	直接持参		1人

【意見等の内容】

件 数	意見の内容	意見に対する市の考え方 (修正した場合は、その内容と理由)
1 件	第 2 章 適正配置計画の進め方 1 各 CS 地区の学校のあり方 (3) 海星校区【海星学校】 (4) 落石校区【おちいし義務教育学校】 意見：(3)(4)については、再考してはどうでしょうか？ (3) 海星学校は（閉校し）特別支援学校としての利活用。 海星学校に通学していた長節地区の児童生徒はおちいし義務教育学校へ、東梅・温根沼・幌茂尻地区の児童生徒は柏陵校区へ、和田地区の児童生徒は居住地区によりおちいし義務教育学校か柏陵校区かどちらかを選択して通学。	根室市立学校適正配置計画（案）の 3 ページ「3 将来的な方向性 (2) 郡部校の方向性」に記述しておりますとおり、各校が「地域とともにある学校づくり」を主眼に置き、それぞれの地域の特色を生かした多様な教育活動を展開し、市内外の児童生徒、保護者が自分にとって望ましい教育環境を選択できる制度を検討しつつ、存続を目指してまいりたいと考えております。 現在におきましても、海星学校の教育活動に魅力を感じ、区域外通学をされているお子さんがおりますことから、教育委員会としましては、今後、区域外通学に関する制度の見直しやスクールバスの運行ルート等についても検討を進め、児童生徒が希望する学校へ通学できる環境づくりをさらに進めてまいります。 特別支援教育につきましては、本年度、新たに特別支援教育に精通した「特別支援教育担当主幹」を配置し、北海道立特別支援教育センターとの連携による教職員研修や相談体制の構築に加え、特別支援教育支援員をはじめとする関係職員の学習サポート等により、障がいの種類や程度に応じた専門的な教育を受けられる教育環境の更なる向上、幼保小中高の横断的な連携体制の強化などに努めてまいります。